



SDGs 国連が2030年までに解決を目指す持続可能な17の開発目標。本稿に書かれた目標は「働きがいも経済成長も」。

ふくしまオーガニック

コットンプロジェクト代表

吉田恵美子さん



東日本大震災の経験。それは決して望



んだものではありませんでした  
が、私たちに、さまざまな人との  
出会いや生き方を変える力を与え  
てくれるきっかけになりました。

私たちは「古着を燃やさないま  
ちづくり」をミッションとして、  
震災前の二十年間、福島県いわき  
市でNPO活動をしていました。  
それが地震・津波・原発事故とい  
う大災害で、従来の活動の枠では  
収まりきらない課題に直面。この

原発事故直後の耕作放棄地の拡  
大を市民の手で食い止めようと始  
まったこのプロジェクトは、在来  
種の茶綿の有機栽培からものづく  
りに至る一連の活動です。SDG  
sであれば、「陸の豊かさを守る  
う」であり、「働きがいも経済成  
長も」が目標地点になるでしょう  
か。しかし、それだけにとどまり  
ません。

課題を克服するための挑戦が私た

コットン栽培に関わる人たちの  
中には、中山間地の農業を変えよ

## 震災が生き方を変えた

ちの活動を前進させ、さらに新た  
な課題に気付きました。この繰り  
返しの中で、周囲の人たちも巻き  
込み、広がった活動が「ふくしま  
オーガニックコットンプロジェク  
ト」でした。



東京都内であった「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」の会合には約70人が参加した

うと、都市と農村の交流拠点をつ  
くり出すチャレンジを始めた農業  
者がいます。帰還の始まった福島  
県双葉郡内に、若者たちが集つこ  
とができる「交民家」という場を設  
け、傍らでコットン栽培を始めた  
青年がいます。コットン栽培を通  
して不就業の状態から抜け出し、  
自立を遂げた若者がいます。自然  
の大切さを子供たちに伝えようと  
絵本を書き始めた主婦がいます。  
オーガニックコットン製品を世に  
送り出すことを一生のなりわいに  
しようと決めた青年もいます…。  
一人一人の中でプロジェクトは  
形作られ、大きく広がり、深まっ  
ています。SDGsのいくつもの  
目標をまたぐ形で、このプロジェ  
クトは前に進むうとしているので  
す。

※この連載は、NPO法人JK  
SKによる『結結プロジェクト』  
の協力を得ています